

I 全国・東北の景気動向

1. 業況判断D I の推移（中小企業）

①全業種計

	18.1-3	18.4-6 見通し	18.7-9 見通し
中小企業	6.9	9.1	9.6
小企業	▲27.6	▲24.9	—

②製造業

	18.1-3	18.4-6 見通し
中小企業	10.0	12.7
小企業	▲14.2	▲14.1

③非製造業

	18.1-3	18.4-6 見通し
中小企業	4.6	6.5
小企業	▲30.0	▲26.9

資料：(株)日本政策金融公庫

2. 業種別業況判断D I の推移（小企業）

①卸売業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲8.2	▲14.2	▲14.1

②小売業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲14.2	▲14.2	▲14.2

③飲食店・宿泊業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲32.0	▲40.3	▲31.3

④サービス業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲25.7	▲34.4	▲25.7

⑤情報通信業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲25.8	▲11.1	▲20.0

⑥建設業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲6.7	▲0.5	▲10.5

⑦運輸業

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
2.8	▲21.9	▲12.8

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 東北業況判断D I の推移（小企業）

17.10-12	18.1-3	18.4-6 見通し
▲26.8	▲37.1	▲29.5

資料：(株)日本政策金融公庫

※業況判断D I

景気が良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いた数値。

○小企業の景況は、持ち直しの動きがみられる。

業況判断D I は、前期からマイナス幅が拡大し、▲27.6 となった。

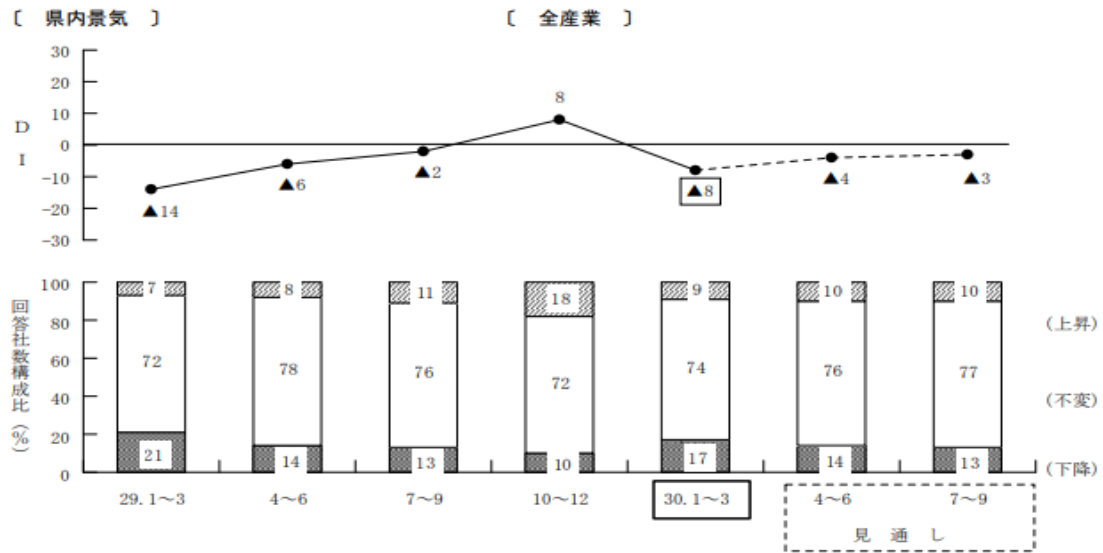
来期はマイナス幅が縮小する見通し。

II 宮城県内の景気動向

- ・調査対象企業 732社（製造 223社、建設 97社、卸売 77社、小売 91社、サービス 244社）
- ・回答企業 456社（製造 146社、建設 70社、卸売 48社、小売 47社、サービス 145社）
- ・回答率 62.3% ・実績 平成30年1～3月期（平成29年10～12月期実績と比べて）
- ・見通し 平成30年4～6月期（平成30年1～3月期実績と比べて）
- ・見通し 平成30年7～9月期（平成30年4～6月期見通しと比べて）
- ・調査期間 平成30年3月15日～平成30年4月16日

資料：七十七銀行

1. 宮城県の景気動向実績



業種別動向

(「上昇」 - 「下降」)

	29年				30年		
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	見通し	
	(▲12)	(▲9)	(▲3)	(3)	(▲6)	4~6月	7~9月
全産業	▲14	▲6	▲2	8	▲8↘	▲4↗	▲3↗
製造業	▲9	▲1	7	18	▲3↘	▲4↘	1↗
非製造業	▲13	▲10	▲6	▲1	▲7	▲4↗	▲5↘
建設業	▲15	▲19	▲14	▲7	▲8	▲16↘	▲17↘
卸売業	▲26	▲8	▲12	(0)	▲15	▲2↗	5↗
小売業	▲10	▲13	▲4	▲4	▲2	▲11↗	▲11→
サービス業	▲9	▲5	(1)	(3)	▲7	3↗	▲1↘
その他	▲18	▲4	0	11	▲15↘		

注1. 数値は実績DI、()内数値は前回調査時の見通しDI。

2. DI = 「上昇」と回答した企業の割合 - 「下降」と回答した企業の割合。

以下、「増加」 - 「減少」、「向上」 - 「悪化」なども同じ。

3. 矢印は、前回調査と比較して上昇している場合は ↗ を、下降している場合は ↘ を、同水準の場合は → として表示している。

資料：七十七銀行

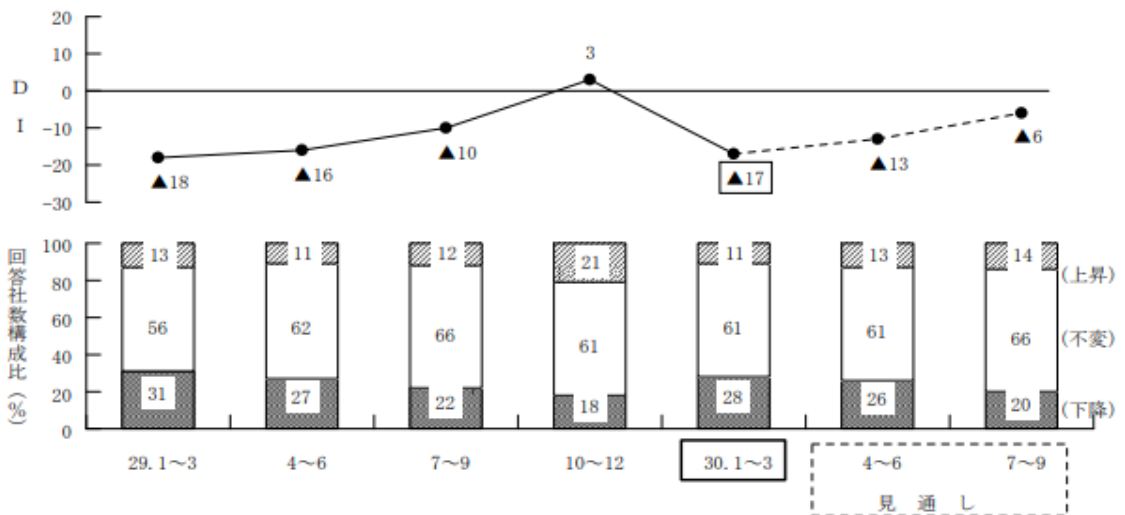
○全産業の平成30年1～3月期実績は「▲8」となり、平成29年10～12月期実績「8」から16ポイント低下した。また、前回調査時見通し「▲6」との比較では、実績が2ポイント下回った。

○業種別にみると、製造業では平成30年1～3月期実績が「1」となり、平成29年10～12月期実績「18」から17ポイント低下した。また、非製造業では平成30年1～3月期実績が「12」となり、平成29年10～12月期実績「3」から15ポイント低下した。非製造業の内訳をみると、建設業はD Iが上昇し、卸売業・小売業などはD Iが低下した。

2. 自社業界景気の実績

【 自社業界景気 】

【 全産業 】



業種別動向

(「上昇」 - 「下降」)

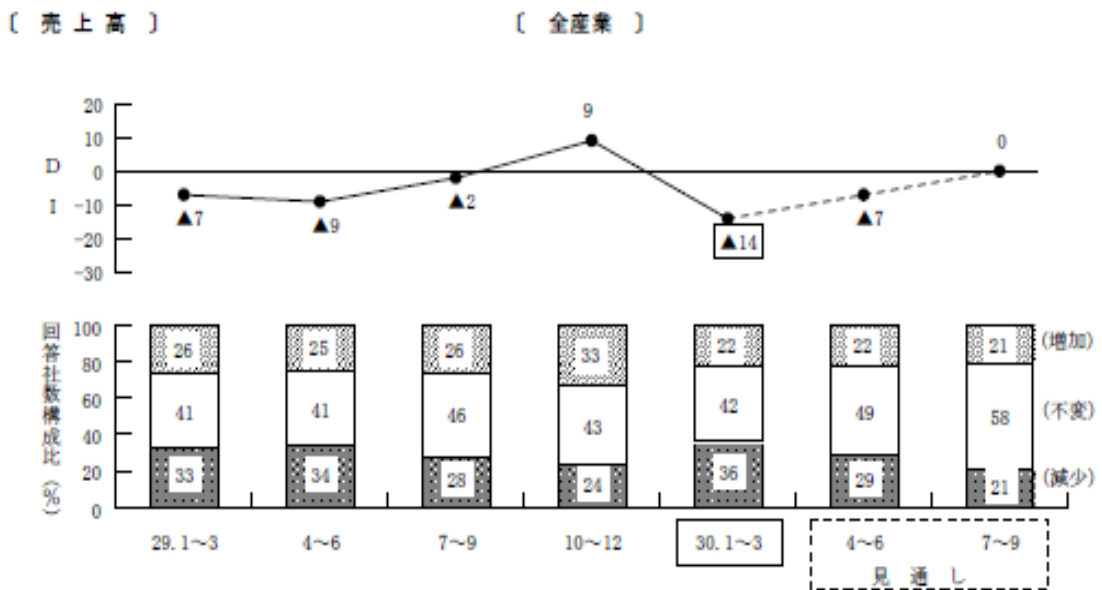
	29年				30年	見通し	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
全産業	(▲18) ▲18	(▲17) ▲16	(▲8) ▲10	(▲4) 3	(▲13) ▲17 ↓	▲13 ↑	▲6 ↑
製造業	(▲7) ▲8	(▲11) ▲8	(6) 7	(10) 19	(1) ▲12 ↓	▲7 ↑	3 ↑
非製造業	(▲23) ▲23	(▲19) ▲19	(▲15) ▲17	(▲9) ▲5	(▲20) ▲20 ↓	▲15 ↑	▲10 ↑
建設業	(▲18) ▲9	(▲26) ▲17	(▲32) ▲24	(▲18) ▲13	(▲14) ▲7 ↑	▲26 ↓	▲20 ↑
卸売業	(▲32) ▲38	(▲8) ▲37	(▲21) ▲23	(▲4) ▲3	(▲35) ▲42 ↓	▲22 ↑	▲4 ↑
小売業	(▲21) ▲33	(▲32) ▲13	(0) ▲25	(▲12) 0	(▲3) ▲12 ↓	▲20 ↓	▲6 ↑
サービス業	(▲23) ▲21	(▲14) ▲15	(▲8) ▲10	(▲5) ▲2	(▲24) ▲20 ↓	▲6 ↑	▲8 ↓

資料：七十七銀行

○全産業の平成30年1～3月期実績は「▲17」となり、平成29年10～12月期実績「3」から20ポイント低下した。前回調査時見通し「▲13」との比較では、実績が4ポイント下回った。業種別にみると、製造業、非製造業ともD Iが低下した。非製造業の内訳をみると、建設業はD Iが上昇し、卸売業・小売業などはD Iが低下した。

○全産業の先行きをみると、D Iは平成30年4～6月期および平成30年7～9月期にかけて上昇する見通しとなっている。

3. 売上高の実績と見通し



業種別動向

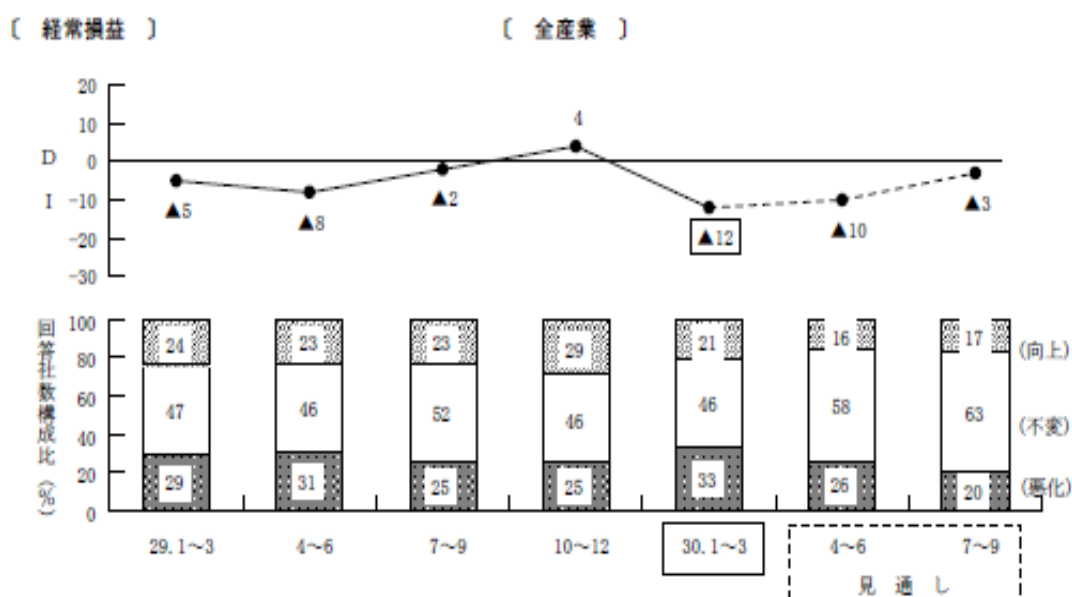
(「増加」 - 「減少」)

	29年				30年		
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	見通し	
						4~6月	7~9月
全産業	(▲13) ▲7	(▲11) ▲9	(1) ▲2	(5) 9	(▲12) ▲14 ↓	▲7 ↑	0 ↑
製造業	(▲3) 8	(▲5) 1	(20) 25	(24) 29	(▲2) ▲3 ↓	3 ↑	15 ↑
非製造業	(▲18) ▲13	(▲14) ▲14	(▲7) ▲13	(▲4) 0	(▲17) ▲19 ↓	▲12 ↑	▲6 ↑
建設業	(▲14) ▲1	(▲27) ▲22	(▲25) ▲28	(▲12) ▲20	(▲17) ▲12 ↑	▲21 ↓	▲17 ↑
卸売業	(▲26) ▲25	(▲10) ▲23	(▲7) ▲23	(2) 13	(▲32) ▲38 ↓	▲12 ↑	▲4 ↑
小売業	(▲7) ▲21	(▲15) ▲14	(▲10) ▲13	(▲4) 8	(0) ▲17 ↓	▲15 ↑	▲3 ↑
サービス業	(▲20) ▲13	(▲9) ▲7	(4) ▲2	(▲1) 3	(▲19) ▲18 ↓	▲6 ↑	▲4 ↑

○全産業の平成30年1～3月期実績は「▲14」となり、平成29年10～12月期実績「9」から23ポイント低下した。前回調査時見通し「▲12」との比較では、実績が2ポイント下回った。業種別にみると、製造業、非製造業ともD Iが低下した。非製造業の内訳をみると、建設業はD Iが上昇し、卸売業・小売業などはD Iが低下した。

○全産業の先行きをみると、D Iは平成30年4～6月期および平成30年7～9月期にかけて上昇する見通しとなっている。

4. 経常損益の実績と見通し



業種別動向

(「向上」 - 「悪化」)

	29年				30年		
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	見通し	
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
全産業	(▲5)	(▲9)	(▲4)	(3)	(▲10)	▲10 ↗	▲3 ↗
	▲5	▲8	▲2	4	▲12 ↘	▲10 ↗	▲3 ↗
製造業	(3)	(▲6)	(8)	(20)	(4)	▲6 ↘	5 ↗
	10	1	21	26	▲2 ↘	▲6 ↘	5 ↗
非製造業	(▲8)	(▲10)	(▲9)	(▲4)	(▲16)	▲11 ↗	▲5 ↗
	▲11	▲12	▲12	▲5	▲17 ↘	▲11 ↗	▲5 ↗
建設業	(5)	(▲16)	(▲19)	(▲9)	(▲14)	▲16 ↘	▲13 ↗
	8	▲9	▲14	▲10	▲7 ↗	▲16 ↘	▲13 ↗
卸売業	(▲22)	(▲19)	(▲23)	(▲11)	(▲25)	▲12 ↗	▲4 ↗
	▲27	▲41	▲21	▲13	▲20 ↘	▲12 ↗	▲4 ↗
小売業	(2)	(▲8)	(▲7)	(▲8)	(2)	▲17 ↘	▲2 ↗
	▲9	▲2	▲13	▲2	▲15 ↘	▲17 ↘	▲2 ↗
サービス業	(▲12)	(▲6)	(▲2)	(2)	(▲21)	▲7 ↗	▲3 ↗
	▲15	▲8	▲7	▲2	▲20 ↘	▲7 ↗	▲3 ↗

資料：七十七銀行

○全産業の平成30年1～3月期実績は「▲12」となり、平成29年10～12月期実績「4」から16ポイント低下した。前回調査時見通し「▲10」との比較では、実績が2ポイント下回った。業種別にみると、製造業、非製造業ともD Iが低下した。非製造業の内訳をみると、建設業はD Iが上昇し、卸売業・小売業などはD Iが低下した。

○全産業の先行きをみると、D Iは平成30年4～6月期および平成30年7～9月期にかけて上昇する見通しとなっている。

Ⅲ 利府町、松島町 観光客入込数・宿泊観光客数

1. 観光客入込数

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
利府町	1,018,143	1,843,037	1,805,039	2,119,333	1,578,849
松島町	2,650,784	2,981,193	2,931,249	2,809,753	2,768,840

資料：宮城県経済商工観光部観光課

2. 宿泊観光客数

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
利府町	13,303	13,960	13,391	22,179	26,487
松島町	634,289	644,360	618,289	642,277	643,331

資料：宮城県経済商工観光部観光課

参考

松島町 観光客入込数・宿泊観光客数（平成29年）

	平成 29 年
観光客入込数	2,746,785
宿泊観光客数	609,156

資料：(一社) 松島観光協会